

二〇一八年度 茨城キリスト教大学入学試験問題

国語 (B日程)

(解答は解答用紙に記入すること)

I 次の文章は、ロボットを開発する研究者の立場からコミュニケーションについて論じたものです。文章では、ロボットや自動販売機の自動音声などが人間の音声とは違って生き生きしていないのはなぜかという疑問を手がかりに、人間が音声言語を発する行為(文章では「発話」という用語が使われます)の特徴を論じています。この文章の前の箇所では、ロボットが「アリガトウ!」「アイシテル!」と言うとき、たとえ自然な音声であっても、気持ち伝わっていかない、コトバが生きた意味をともなっているとは感じられないことが述べられています。それは、ロボットは設計者によって仕組まれたコトバを、そのまま発しているに過ぎないからなのだと言者は主張しています。

文章を読んで、後の問に答えなさい。

発達心理学者の浜田寿美男先生によれば、「わたしたちの身体は外から容易に観察できることから、その身体は完結しているような先入観を持たれやすい」のだという。人と人とのコミュニケーション場面に対しても、そのままではまるるもののように思う。その対象を観察者の視点から眺めるとき、とてもわかりやすい絵を描きやすいのである。①、人と人との関わりにおいても、そこでやりとりされるメッセージやその意味は自己完結しており、そのまま詰んじれば、相手に伝わっていく……と。

これはコミュニケーション論のなかで「伝達的なモデル」とか「導管メタファ (conduit metaphor)」と呼ばれるものである。そこで描かれる音声生成系は、一方的な指示を受けて動くだけの器官、つまり受動的なキカイそのものなのだ。なにか生き生きしていないのは、そんなところに要因があるのではないだろうか。

ではその視点を発話者の内側に移してとらえるなら、どのような風景が見えてくるだろう。先に述べたように、初心者のクルマを操る様子をクルマの外から眺めてみると、とてもどこかしく感じる。ドライバーは自分の意図した通りに、そのまま操縦すればいいのに、なぜかモタモタして見えるのだ。しかし、自分でそのクルマに乗り込み、ドライバーの「内なる視点」から眺めてみると、それは〈操縦する者(=mover)〉と〈操縦されるモノ(=moved)〉という、わかりやすい構図ではないことに気づく。

自らの内なる視点からは自分の顔は見えないように、自分自身の行為にもかわらず、そこでハンドルを回すこと、アクセルを踏むことの意味を完全に把握できているわけではない。むしろ、その意味を探るために行為を繰り返すという感覚に近い。「あれっ、どうしよう……。えっとー、そうそう、ハンドルを右に回すと……。あれっ、やばい。えっ、どうということ？ うー、どうして……。」と、例の〈モジモジ君〉^(注5)のような口調になってしまうのだ。

言葉を繰り返すときというのは、この自らクルマを操ろうとする場面によく似ている。それを繰り返す瞬間において、その発話の意味や価値は必ずしも完結したものではない。そこで伝えたいことも漠然としている。②、なにげなく言葉を繰り返すなかで、その意味や役割が**B**おぼろげに見えてくるのだ。

実際の発話の例を見てみよう。ある女性がかつて利用したことのあるレストランの雰囲気伝えようとしている一部である。

でー、そうねー。そこのお店のー、内装とかデザインとか素敵でー、あの、いま、最近、六本木とかー、銀座とかー、よくお店でてるんですけど、えーなんか、壁は白いしつくいでー、でー、柱、黒い、黒い柱が、おっきい太い黒い柱が、ぬっと出ている、なんていうかなあフランスの田舎風っていう感じのー、んー、そんな感じのレストランなんですネ。

テキストからは、その音声は聞こえてこないけれども、女性らしい落ち着いた口調で、お店の雰囲気を紹介しようとしていることは伝わってくる。思わず、その話に耳を傾けてしまうような、そんな力を宿しているようにも思うのだ。

お店の内装が素敵であること、それは都内の各所にもあること、部屋の壁や大きな柱のこと、そしてフランスの田舎風の感じのレストランであること。これらを想起しながら、丁寧に語られていく。漠然としたイメージをとりあえず言葉にしては、自分で表現したかったこととの差異や相手の関心の具合を参照しながら、そこで足りないところを補足していく。

こうした発話の方略は、とりあえず動いてみる、そして壁にぶつかっては、その進行方向を巧みに変えていくお掃除ロボットの振る舞いのようでもあるだろう。発話の様子からは、「ちょっとお洒落なレストランの様子を紹介したい」という漠然とした意図はあっても、それを「どのように伝えるか」に関する詳細なプランまでは用意されていない。なにかゆきあたりばつたりに思いつくまま、言葉にしている感じなのである。

それと、後半にある「でー、柱、黒い、黒い柱が、おっきい太い黒い柱が、ぬっと出ている」という発話をもうすこし丁寧に見ておこう。相手の表情や自らの発話プランをときどき参照しながら、「とりあえず発話してみて、また修正を加える」という振る舞いは、もうすこし**C**微視的な水準にもあつ

て、それらは入れ子^(注6)になっているようだ。

なんとなく「フランスの田舎風の雰囲気であること」を伝えたかったのだろう。

③

まず印象に残っていた「柱」について、とりあえ

ず口に出してみる。するとそのあいだに、そういえば「その柱は黒かった」ことを新たに思い出して、「黒い」と補足する。あるいは、「黒い柱が」と発話を整えつつ、さらには「おっきい太い黒い柱」であること、それが「ぬっと出ている」ことを補足している。

こうして眺めてみると、思わず「いい誤り」をしてしまったのを「いい直す」というより、むしろ「いい直す」ことを前提に発話が繰り返されるようなのだ。その「いい直し」をくりかえすことで、次第に伝えたいことが精緻化^Dされていく。

〈中略〉

「柱、黒い、黒い柱が、おっきい太い黒い柱が、ぬっと出ている」のように、「とりあえず……」の④発話を続けながらも、その行為は少しずつ精緻化されていく。漠然としていた自らのイメージをよりクリアなものとしていく。なにげない発話をくりかえすということが「思考の道具」ともなっているのだ。

それと「とりあえず……」には、もう一つ重要なポイントがある。その「とりあえず」という行為の背後にあるのは、「とりあえず、動いてみないことにはわからない」という、わたしたちの身体に備わる制約の存在である。このことは、「マッハの絵」^(注7)などを手がかりに、先の章でも議論してきたことである。

自分の発話の意味のだけれど、自分のなかに閉じていては知りえない。その意味や価値を一旦は周囲に委ね^E、その関わりの中で見出していく。そうした見方をするならば、「わたしたちの発話生成系というのも、Xした〈閉じたシステム〉ではなく、むしろ外に開いた〈オープンなシステム〉なのではないのか」というわけである。

その意味で、なにげない発話とは、「何かを伝えようとする伝達的な意図」を半ば抱きつつも、その不完結な発話の意味や価値を周囲に委ねつつ見出そうとするものだろう。先に、「私^(い)たちの発話はいい直すことを前提に繰り返されているのではないか」と述べた。わたしたちの発話における「いい直し」や「⑤」というのは、そうした知覚的、探索的な側面をも含んでいる。それと聞き手とのあいだで一緒に意味を生みだしていくような、生成的なものでもあるのだ。

注1・注2 「伝達的なモデル」・「導管メタファ」：いずれも、話し手から発せられた情報はそのまま聞き手に伝わっていくという考え方。「導管」はパイプ、「メタファ」はたとえ。

注3 発話：音声言語を発する行為。

注4 この文章の前に、初心者ofクルマを操る様子について、以下と同様のことが述べられている。

注5 〈モジモジ君〉：本書の他の部分で紹介されているロボットの名前。

注6 入れ子：大きな容器の中に、それと同じ形をした小さな容器を順々に入れていく構造。

注7 「マッハの絵」：オーストリアの哲学者、エルンスト・マッハ（一八三八年～一九一六年）が描いた自画像。普通の自画像と異なり、座った自分が見た視界に入る自分の下半身を描いている。

注8 この文章の前にある章を指している。

問一 傍線部A～Eの本文上の意味として最もふさわしいものを、それぞれ次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

A 諳^{そら}んじれば

ア まるごと覚えて言えば

イ とりとめなく言えば

ウ 何度も繰り返し言えば

エ 丁寧に説明すれば

B おぼろげに

ア なにげなく

イ だんだんと

ウ さりげなく

エ ぼんやりと

C 微視的な

ア 肉眼では捉えられないような

イ 視覚によつて捉えられるような

ウ 細かい観察で捉えられるような

エ 一つ一つ見分けられるような

D 精緻化されて

ア 詳しく明確になって

ウ 技巧が凝らされて

イ 工夫されて

E 委ね

ア あたえ

イ まかせ

ウ あわせ

エ わからせ

問二 空欄①～⑤に入れるのに最もふさわしい語句を、それぞれ次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

① ア しかしながら

イ 加えて

ウ たとえば

エ つまり

② ア つまり

イ さらに

ウ それでも

エ それゆえ

③ ア そこで

イ しかし

ウ というのは

エ その結果として

④ ア 意図的な

イ 暫定的な

ウ 消極的な

エ 受動的な

⑤ ア いい回し

イ いい争い

ウ いい逃れ

エ いい淀み

問三 筆者の主張に、当てはまるものには○、当てはまらないものには×をつけなさい。

1 人が話すという行為は「伝達的なモデル」「導管メタファ」と呼ばれるものに当てはまらない。

2 いい直しは、話す人の誠実さのあらわれである。

3 いい直しをするからこそ、ロボットより人間のほうが優れたコミュニケーションができる。

4 伝えられるメッセージの意味は、聞き手とのかかわりで決まっていく。

5 あらかじめ自分自身の行為の意味を完全に理解していない点で、人が話す行為と初心者のクルマの運転とは共通する。

- 6 会話を外から観察するだけでなく、実際に会話に参加しない限り、人間のコミュニケーションの本質は理解できない。
- 7 科学技術が発達しても、人間と同じように話すロボットを作ることとは不可能である。

問四 空欄 に入れるのに最もふさわしい言葉を、本文中から探し、四字で答えなさい。

問五 二重傍線部（あ）および（い）に、いい直すことを前提に発話が繰り返されるといふ記述があります。人はなぜ「いい直す」のか、筆者の主張を六十字以内でまとめなさい。

II

問一 次の①～⑤の傍線部の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

- ① 思わぬ災害で、建築計画が頓挫してしまった。
- ② 商品が飛ぶように売れて、在庫が払底した。
- ③ よく熟れたバナナはおいしい。
- ④ あなたの意見には首肯しかねます。
- ⑤ 生き物を慈しむ心が大切だ。

問二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを、漢字で書きなさい。

- ① 食器はシャフツ消毒してください。
- ② 高齢者の人権をヨウゴする法律をつくる。
- ③ 銀行でニセサツが発見された。
- ④ 最近、空港のケイカイがますます嚴重になった。
- ⑤ 五問目は、出題ヒンドの高い問題だ。

問三 次の①～⑤の傍線部は、中国の故事を踏まえた慣用句（故事成語）です。□に当てはまる漢字を、それぞれa～eの中から選び、記号で答えなさい。

① 彼女は、その会社に三□の礼をもって迎えられた。

- a 遷 b 昧 c 夜 d 会 e 顧

② 数年で師匠より優れた作品を作るとは、君はまさに出□の誉れだ。

- a □ b 藍 c 色 d 入 e 奔

③ 彼の才能が開花したのは、□雪の功の結果だ。

- a 積 b 風 c 花 d 紅 e 螢

④ 今さらくよくよ後悔しても、覆□盆に返らずだ。

- a 灯 b 餅 c 水 d 興 e 山

⑤ このコンクールは若手音楽家の登□門となっている。

- a 鯉 b 竜 c 仙 d 華 e 馬

問四 次の①～⑤の四字熟語中の□に当てはまる漢字を、それぞれ a～eの中から選び、記号で答えなさい。

① 内憂外□ a 寛 b 肝 c 歡 d 患 e 喚

② 森羅□象 a 伴 b 万 c 晚 d 盤 e 幔

③ 心□一転 a 機 b 記 c 氣 d 期 e 起

④ 一□託生 a 憐 b 連 c 練 d 廉 e 蓮

⑤ 衆人□視 a 感 b 歎 c 環 d 監 e 看

問五 次の①～⑤の外来語の意味として最もふさわしいものを、それぞれa～dの中から選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | レジエント | a 記念 | b 勝者 | c 伝説 | d 名誉 |
| ② | パイオニア | a 研究者 | b 開拓者 | c 指導者 | d 技術者 |
| ③ | エントリー | a 最終合格 | b 採用内定 | c 入会審査 | d 参加登録 |
| ④ | ガイドライン | a 誘導 | b 限界 | c 連携 | d 指針 |
| ⑤ | ポリシー | a 機能 | b 手順 | c 方針 | d 美学 |

国語解答用紙 (B日程)

I

問一	A
	ア
	B
	エ
	C
	ウ
	D
	ア
	E
	イ

問二	①
	エ
	②
	ウ
	③
	ア
	④
	イ
	⑤
	エ

問三	6	1
	×	○
	7	2
	×	×
		3
		×
		4
		○
		5
		○

問四

空欄 X

自己完結

小計

問五	こ	い	は	発
	と	直	お	話
	を	し	ら	の
	は	を	ず	意
	っ	く	、	味
	き	り	漠	は
	り	返	然	あ
	さ	す	と	ら
	せ	こ	し	か
	ら	と	て	じ
	れ	で	い	め
	る	伝	る	決
	か	え	が	ま
	ら	た	、	っ
	。	い	い	て

60字

小計

II

問一	①
	とんざ
	②
	ふってい
	③
	う (れた)
	④
	しゅこう
	⑤
	いつく(しむ)

問二	①
	煮沸
	②
	擁護
	③
	偽札
	④
	警戒
	⑤
	頻度

小計

問三	①
	e
	②
	b
	③
	e
	④
	c
	⑤
	b

小計

問四	①
	d
	②
	b
	③
	a
	④
	e
	⑤
	c

小計

問五	①
	c
	②
	b
	③
	d
	④
	d
	⑤
	c

小計

総計

受験番号